

おすすめ本の紹介

one's favorite book



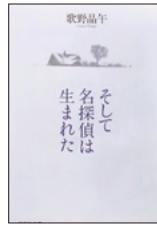
世界をつくり変える男 イーロン・マスク

竹内一正 著/ダイヤモンド社

建築工学科
坂本 英輔 先生



スペースX社やテスラ社という企業名を聞いたことはありませんか？ どちらもイーロン・マスクが率いるベンチャー企業です。彼は人類の火星移住を本気で目指しており、どちらの会社もそのための布石です。この本を通してぶっ飛んだ人間の頭の中を覗いてみてください。これからの大学生活がさらに刺激的なものになるかもしれません。



そして名探偵は 生まれた

歌野晶午 著/祥伝社

情報工学科
中島 亨輔 先生



雪の山荘、絶海の孤島、西洋の館など、ミステリー小説の王道設定を扱う短篇集。トリック云々ではなく、心理描写の妙が際立つ本作は一読の価値ありです。既成概念を尽く打ち砕く予想外の結末が、収録されている全ての作品であなたを待ち構えています。皆さんが、この本のように型にはまらない意外性のある人間に成長することを願っています！



舟を編む

三浦しをん 著/光文社

地球環境学科
伊藤 征嗣 先生



新しい国語辞典の製作をテーマにした小説です。工学系の「ものづくり」とは異なりますが、同じ「ものづくり」に携わる人間ならその過程は興味を持てるでしょう。さらに、様々な性格や素養を持った各メンバーの、辞書作りに対する心情の変化が仔細に描写されていて面白いのです。また、恋愛模様も描かれているので親近感も持てます。是非一読を。



医療における ヒューマンエラー なぜ間違える どう防ぐ

河野龍太郎 著/医学書院

生体医工学科
渡邊 琢朗 先生



私は「すべての人が失敗をしない」とは言い切れない。」と考えています。医療におけるミスは重大な結果を伴います。本書は、医療事故の事例を列挙し、ヒューマンエラーにより生じた事案の分析手法や対策などを紹介しています。解り易い図表で解説しており、医療安全・リスク管理に興味のある学生はぜひ活用してください。



大江戸 知らないことばかり 水と商と大火の都

NHKスペシャル「大江戸」制作班 編 著/NHK出版

附属図書館
大杉 勝春 事務長



徳川家康が江戸に入ったのは1590年、明治までの278年の間に何があったのか。人口は6万人から100万人を超え、大規模治水、経済発展、連続して発生する大火災、どのようにして困難な課題を乗り越えたのか。本には「江戸」の武士や町人の知恵などについて書かれています。江戸の知恵を学生の皆さんも参考にしてください。



文具の流儀 ロングセラーと なりえた哲学

土橋正 著/東京書籍

入試広報部
青木 綾香 さん



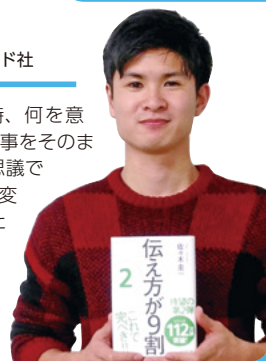
普段使っている文房具のことをどれくらい知っていますか？ 例えば、シャープペンの芯が0.5mmなのはなぜでしょう？ この本では昔から今まで親しまれている文房具の誕生やメーカーのこだわりが隠されています。普段使いの文房具を深く知ること、より愛着を持てると思います。



伝え方が9割 (2)

佐々木圭一 著/ダイヤモンド社

食品生命科学科
小田 勇真 さん



あなたは何かを伝える時、何を意識していますか？ 思った事をそのまま伝えたりしていませんか？ 日本語は不思議で言い方を変えると相手の感じ方もガラリと変わります。この本にはそのための技術がたくさん詰まっています。伝え方で、あなたの人生を変えてみませんか。ぜひ、読んでみてください。



かがみの孤城

辻村深月 著/ポプラ社

食品生命科学科
三嶋 大輝 さん



大人でも子どもでも、自分の価値観が正しいと信じ込み、様々な行為を正当化し行ってしまう。そこには悪意さえも正当化し、自分こそが正しいと思ってしまう恐ろしさがある。この本では、7人の子どもたちがオオカミさまに招かれた意味を考え、それぞれの問題に立ち向かっていく。彼らは、解決ではなく、「解消」を願う。そんな優しい物語です。